



環境リスクPress

2016年11月発行 / VOL.9

アスベスト関連ニュース 2016年10月20日

アスベスト含む部品売却 JR東日本郡山総合車両センター、「含有分からず」

JR東日本の車両の検査や解体を行う同社郡山総合車両センター(郡山市)が、がんなどの健康被害を起こす恐れがある物質、アスベスト(石綿)を含む車両の部品を金属くずとしてスクラップ業者へ売却処分していたことが18日、JRなどへの取材で分かった。同社は9月上旬に売却の部品にアスベストが含まれているのを把握していたが公表していなかった。同社は「監督官庁と相談して調査を進めていたため公表していなかった」としている。同社は部品を売却した時点で「売却した部品がアスベストを含むと把握していなかった」としている。

同社によると、部品の解体などに従事した職員の健康被害などはないとしている。同社や関係者によると、売却したのは、列車の台車部品を交換して廃棄したり、車両自体を解体した際に残った部品。9月上旬に職員から指摘を受けて、製造会社に問い合わせたところ、部品にアスベストが含まれているのが判明したという。

※一部抜粋(参照:福島民友)

土壤汚染対策の基礎知識

環境基準 「溶出量」と「含有量」

土壤汚染対策法では、汚染物質の判断として、基準値を設けています。基準値は「溶出量基準」と含有量基準があります。

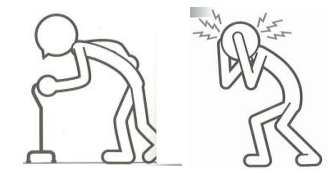
■溶出量…

土壤を採取して水を加えた場合に溶出してくる有害物質の量です。溶出量調査は地下水等からの摂取リスクの観点で捉えられます。

■含有量…

採取した土壤に含まれる、体内において溶け出しうる有害物質の量です。含有量調査は直接摂取によるリスクの観点で捉えられます。第一種特定有害物質及び第三種特定有害物質において含有量調査は実施されず、**第二種特定有害物質のみ**実施されます。

土壤汚染対策法によって規定された汚染物質は人体へ様々な影響を及ぼし、健康被害が生じる可能性もあります。



最新トピックス

まずは現地へGO！ ベトナム 面接・商談ツアー

参加費：無料
※旅費は実費となります

アジア建設技能促進協同組合では、技能実習生との面談とベトナム視察を兼ねて定期的にベトナム面談ツアーを実施しています。また、技能実習生の送り出しだけでなく、ベトナムでのビジネス展開、ネットワークを作りたいという企業様のサポートのしています。

- ベトナムで資材を調達したい
 - ベトナム経済を体感したい
 - 技能実習生候補者と面談してみたい
 - ベトナムへ進出を考えている
- などなど ご要望に合わせ調整いたします。お気軽にご相談ください！

